

発達障がいのタイプと特性

■ 自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい（自閉スペクトラム 症）の特性

相手の気持ちを理解したり、相手の立場に立って物事を考えたりすることが苦手など、対人関係やコミュニケーションの難しさが主な特徴です。また、同じ行動を繰り返したり、興味のあるものにこだわったり、変化に対応することの苦手さなどが見られます。

強味として、じっくりと物事に取り組んだり、一つのことを几帳面にやり遂げることができます。興味のあることを活かせば、専門的な仕事もできます。

■ 学習障がい（LD）の特性

全体的な知的発達に遅れはありませんが、読み書きや計算など、特定のことに困難があります。学習や仕事の場面で、書くことや文章を読むこと、計算などの極端な苦手さが見られます。

■ 注意欠陥多動性障がい（ADHD）の特性

注意力と集中力に欠けること、多動性（じっとしてられない）や衝動性（考えずに行動してしまう）といった特徴があります。気が散りやすく一つのことに集中して取り組むことが難しかったり、ケアレスミスや失くし物が多い、整理整頓が難しいといった苦手さが見られます。

強味として、チャレンジ精神が旺盛で行動力があったり、アイデアが豊富だったり、いろんな人と関わりを持つことができます。

※ ここでは、主に発達障害者支援法に定義されている障がい名に基づいて記載しています

こんなことに困っています

- 曖昧な言葉の理解や、相手の意図を読み取ることが苦手です。
- 一般的な社会のルールを理解したり、顔の表情などから相手の気持ちを推測して行動したりすることが難しい場合があります。
- 「知らないこと」、「初めてのこと」や変化に対応することが苦手な人もいます。
- じっとしていることが苦手で、考える前に行動に移してしまったり、ミスを繰り返してしまったりすることがあります。
- 外見からはわかりにくいいため、周囲から「空気が読めない」、「融通がきかない」、「やる気がない」と誤解されることもあります。

こんな配慮をお願いします

- あいまいな表現を避け、何をどうしてほしいかなど、伝えたい内容を具体的に説明しましょう。
- 一度にたくさんの指示があると、すべてを理解することが難しかったり、優先順位をつけるのが難しくなったりする場合があります。ひとつひとつ順を追って伝えたり、内容をメモに書いて渡すなどの配慮があると、理解しやすくなります。
- 苦手なことに注目するだけでなく、その人の強みや興味関心を生かすことも考えながら、その人に合った方法を相談して決めていくようにしましょう。

発達障害の理解のために

発達障害は、脳機能の発達に関係する障害です。発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだと理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

外見からはわかりにくいいため、苦手なことや難しいことが理解されにくいことがあります。得意なことについては優れた力を発揮することがあります。周囲が発達障がいやその人の特性を理解し、それぞれに合わせた配慮をすることで、能力をさらに発揮できたり、社会で生活しやすくしていくことができます。

発達障害のある人を理解するために、自閉症、アスペルガー症候群その他の学習障害、注意欠陥多動性障害など、主な発達障害の特徴を紹介します。なお、発達障害は、複数の障害が重なって現われることもありますし、障害の程度や年齢（発達段階）、生活環境などによっても症状は違ってきます。発達障害は多様であることをご理解ください。

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともある

自閉症

広汎性発達障害（PDD）

アスペルガー症候群

（自閉スペクトラム症：ASD*）

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

それぞれの障害の特性

注意欠陥・多動性障害（ADHD）

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるより先に動く）
（注意欠如・多動症：ADHD*）

学習障害（LD）

- 読む、書く、計算する等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

（限局性学習症：SLD*）

※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）、発達性協調運動障害（不器用さ）なども発達障害に含まれます

※発達障害の人には、感覚の過敏や鈍麻が見られることもあります

*はDSM-5の診断名